

## は し が き

本学は教育学部と教育学研究科で構成されています。学部には、三つの附属校園（中学校、小学校及び幼稚園）、附属教育実践総合センター及び附属自然環境教育センターがあります。附属中学校は1947年、附属小学校は1889年、附属幼稚園は1927年開園と長い歴史と伝統を有し、学生の教育実習の場として、また教育実践・研究の場としての重要な役割を果たして参りました。附属教育実践総合センターは、平成12年度、附属教育実践研究指導センターの改組により大学の教育研究及び地域の教育機関との連携の役目を担う中核的な組織に拡充されました。附属自然環境教育センターは奈良実習園と奥吉野実習林を有し、まさに今日求められる環境教育を実践し、地域との深いきずなを持った活動を展開しております。

大学附属施設として、まず、附属図書館が挙げられます。教育・研究の足腰にあたる機能を充分発揮しているのは当然のこと、電子図書館的役割を充分果たすよう尽力しております。保健管理センター、情報処理センター、教育資料館、教育研究所はそれぞれ、大学の教育研究の推進あるいは学生生活や活動への配慮で大事な役割を果たしております。

今回、それぞれの附属施設・センター・附属校園が自己点検・評価活動を行い、大学全体の中の位置付け・意義を明らかにいたしました。今後の大学改革の一環として、本自己評価書での成果と課題を踏まえて、各組織が充実・発展に努力すべきと考えます。この報告書に対し、学内外よりの御助言・御指導をお願い申し上げます。

平成13年3月

奈良教育大学長 大久保哲夫